

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東海)		商店街（代表者）	・衆議院選挙で与党が勝利し、どんどん良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・年末年始で人の動きが増える。
		一般レストラン（従業員）	・年末に向けて良くなってほしい。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・衆議院選挙も台風シーズンも終わって、環境は良くなる。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・年度末に向けて受注の増加が期待される。
		百貨店（企画担当）	・インバウンドの好調や株価上昇に伴う高額品の引き合い増加等があり、台風や雨天等のマイナス要件を差し引けば、売上増加が続く。
		百貨店（経理担当）	・地政学リスクの顕在化等、環境変化が発生しない限り、引き続き個人消費は堅調に推移する。
		百貨店（経営企画担当）	・株高や景気拡大等で富裕層を中心とした購買が見込まれる。急激な気温低下による冬物衣料の購買増加も期待できる。
		百貨店（販売担当）	・今月後半の様子からは、自家、ギフト需要共に徐々に好転の兆しがうかがえる。ボーナスやクリスマスで、自分へのご褒美需要も高まる。
		スーパー（経営者）	・年末年始を迎え、参拝客の増加に期待する。
		スーパー（総務担当）	・野菜の価格が安定してきて、鍋物商材の動きが良い。
		スーパー（営業企画）	・衆議院選挙が終わって心理的に一段落したことで、消費マインドはやや改善する。
		スーパー（販売担当）	・個人の買物客が多くなっており、来客数も増加して良くなる。
		スーパー（販売担当）	・新たな競合店に対抗するため、売上や利益の予算を低くして薄利多売や販売企画で客を呼び込む。競合店の開店効果も落ち着いてくるので、3か月後は良くなっている。
		スーパー（ブロック長）	・衆議院選挙が終わって政権が安定し、株価が好調に推移している。過去の経験から、高単価品の多い当店には追い風である。
		コンビニ（企画担当）	・これからも東南アジアからのインバウンドは増え続ける。
		コンビニ（エリア担当）	・景気は回復傾向にあるので、年末商戦とあわせて活発化してくる。
		家電量販店（店員）	・高単価な商品で問い合わせや見積依頼が多くなってきている。
		乗用車販売店（営業担当）	・安い物が売れる時代から高くても良い物は売れる時代になってきた。何でも売れるわけではないが、良い物は売れている。株価も上昇してきており、消費者にも少しずつ実感が出ている。
		乗用車販売店（経営者）	・来年も新年初売りを3日から開催する。毎年恒例となっており、購買意欲も高くなるので期待したい。
		乗用車販売店（経営者）	・衆議院選挙の結果がどう影響するかは分からないが、今の少し良い状態が同じように続くように見込まれる。
		乗用車販売店（従業員）	・オークションの動きも良い値段で売れており、良い流れである。株価が上がっている影響もある。白い車や高い車も売れ始めている。
		乗用車販売店（従業員）	・衆議院選挙で与党が勝利し政治も安定してきたので、この先に自然災害や北朝鮮の問題がなければ、年末に向かって消費が増え、景気は良くなる。
	乗用車販売店（販売担当）	・年末にかけて車検の客が増えるため、商談件数も増加し、販売台数も今よりは増加する。	
	乗用車販売店（営業担当）	・政権が落ち着き、全体的に上向きな雰囲気となっている。足元の客の動きからもやや良くなる。	
	その他専門店〔雑貨〕（店長）	・足元よりは良くなるが、前年ほどではない。年末商戦については、ネットショッピングが主流になる一方、新しい商業施設が増えて商圈が拡大しても人口は変わらないため、売上は分散する。政治への不安による購買意欲の減少も気になる。	
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・年が変わる時期で必要となる物が変わる。	
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・政権が安定してきている。	
	その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・ボーナス時期で期待ができる。	

高級レストラン（役員）	・販売促進イベントへの客の反応が良く、忘・新年会に期待がもてる。
一般レストラン〔パン・カフェ〕（経営者）	・これから冬場にかけてはイベント等に力を入れていく。
観光型ホテル（販売担当）	・1年で最も忙しい時期となるが、前年同月比では、例年ある予約を確保した上で更に2%程度上回っている。今後も更の上積みするよう努める。
都市型ホテル（経営者）	・衆議院選挙が終わり、経済政策が軌道に乗れば良い方向に向かう。
旅行代理店（経営者）	・年末の駆け込み需要がやや期待できる。大型レジャー施設やイルミネーションのCMで、国内旅行は期待できる。北朝鮮問題でソウルやグアム方面は新規客の獲得に苦戦しているが、LCCが参入し、手軽な旅が楽しめるようになっている。今後も新規路線の就航に期待している。
タクシー運転手	・衆議院選挙も終わり、政治が安定している。12月にはボーナスも出るので、売上増加を期待している。
タクシー運転手	・年末になれば少しは良くなる。
通信会社（企画担当）	・海外絡みの突発的事案は懸念されるが、年末の需要期に向かうと同時に、政治の安定や株価の上昇等で、良い方向に向かっている。
通信会社（営業担当）	・今後も今まで以上に改善が続く。
通信会社（営業担当）	・年末のボーナス時期やクリスマスに向けて、客の購買意欲が高まっていく。
ゴルフ場（企画担当）	・2～3か月先の予約数は順調に推移し、各ゴルフ場共に前年同月を上回っている。冬期に入るが、今よりは良くなる。
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・現政権が安定している。
美容室（経営者）	・2か月先は正月で、最近の雨でパーマをかけられなかった客の来店がこれからは増えてくる。
美顔美容室（経営者）	・今年一杯はキャンペーンが続くため、2セット目の購入が見込まれる。
美容室（経営者）	・段々と年末になりイベントが増えるため、景気は良くなっていく。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・将来の施設利用を検討するために訪れる人が増えてきている。
その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・年末に向けて、リフォームの問い合わせや新築物件の引き合いがある。
商店街（代表者）	・客は必要以上の物を買わない。イベント等、販売促進を行わなければ、なかなか売上に反映されない。
商店街（代表者）	・消費税の引上げが確実になり、相変わらず節約志向が続く。
商店街（代表者）	・購買意欲は見受けられるが、販売量がそれに比例して伸びない。今後2～3か月の間では現状から変わらない。
商店街（代表者）	・良くなる要素が何もない。政権が変わらないので景気回復については何も期待できない。
商店街（代表者）	・景気が上下する要素が見当たらない。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	・個人消費は、このまま良くない状況が続く。
一般小売店〔生花〕（経営者）	・物価も徐々に上昇し、なくても生活できる物は省いていくようになっていく。とても良くなるとは思えず、将来に望みがもてない。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	・年末年始に向けて外食が増える時期だが、例年に比べて予約状況が良くないという飲食店が多い。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・大企業のお歳暮は増えるが、個人客は贈り先を減らしており、売上が伸びない。法人需要が伸びても個人はマイナスのため、中身は少し変わるが3か月先も売上は変わらない。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	・処方箋の調剤部門は安定しているが、ドラッグチェーンの無秩序な出店で町の個人薬局は全滅状態で、地域の商店街が消えようとしている。年末年始に向かっているいろいろなセールが実施されるので期待はしたい。
一般小売店〔土産〕（経営者）	・変わる要因がない。
一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・北朝鮮問題やこれからの政権運営等、先行きが見通せない。どうなるか何ともいえない。
百貨店（売場主任）	・売場でイベントやカード優待等を行うと、足を止める客はいるが、すぐに購入する客は少ない。

百貨店（販売促進担当）	・変動要因が見当たらない。
百貨店（販売担当）	・季節商材は出足が良くてもすぐに動きが落ち着いてしまう。高単価商品がなかなか動かない。
百貨店（計画担当）	・この先しばらくの間は、来客数、客単価共にアップする状態が続く。
スーパー（経営者）	・年金生活者がどんどん増え、高齢者のパート等が多い。人手がなかなか集まらず、企業は時間給を少しでも上げざるを得ない。景気は良くなりつつあるが、中小企業は、取引先からグローバル化に対応するため低価格の要望が強く、仕事はあっても利益に結び付かない。
スーパー（店員）	・来客数が減少している。今後もあまり良くはならない。
スーパー（販売促進担当）	・毎年購入がある大手企業や中小企業の売上が年々減少している。これらの販売が回復しないと景気も改善しない。
スーパー（人事担当）	・好況感がない。
コンビニ（エリア担当）	・引き続き夕夜間での一層のキャンペーンを行い、新商品のファーストフードやホットフーズの売上を伸長させる。
コンビニ（エリア担当）	・いろいろな企画を行っても反応が薄い。来客数が増加する兆しがない。
コンビニ（店長）	・賃金が上昇せず景気回復の実感薄い。繁華街は飲食客等も少なく、人出が増えない。
コンビニ（商品開発担当）	・株価の高値更新で好景気のようなにぎわいもあるが、消費者の購買意欲には変化がなく、相変わらず売れる商品はセール品中心である。来客数も前年割れが続いており、この動きはしばらく変わらない。
衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	・今の流れは一時的なものである。これまでの傾向から、決して長続きするとは思えない。
家電量販店（店員）	・政治は安定しても、働き方改革による可処分所得の減少で今後は伸びない。
乗用車販売店（経営者）	・良くも悪くも安定している。
乗用車販売店（従業員）	・年末に向けての増販期に入ってきている。中心車両のマイナーチェンジも実施され、少しでも車に対して興味をもってもらい、店頭誘致を図りたい。しかし、客の財布のひもはまだ固く、客からは景気が上向いているような話題は聞かえてこない。
乗用車販売店（従業員）	・モーターショーが開催され、その話題で盛り上がる客もいるが、大半の客は無関心なので、ボーナス商戦に向けて先行きは不透明である。自動車メーカーの不正検査問題もあり、購買意欲に影響しないか不安である。
乗用車販売店（従業員）	・新型車種の投入もしばらくなく、年末に向けて現状維持がやっとである。
乗用車販売店（総務担当）	・販売状況に問題はないが、人材確保が少し難しくなっており、着実にコストアップにつながる。
住関連専門店（営業担当）	・住宅関係等、建築工事は全般的に微増である。リフォーム、大規模改修や店舗改修等の工事は増加が見込まれる。
一般レストラン（経営者）	・5月以降は、外食関係は当店に限らず、周辺の飲食店や食材販売業者共に販売が不調で、先行きにも不安を覚える。
一般レストラン（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。
スナック（経営者）	・客の声では、年々年金がカットされて不満が強い。財布のひもも緩まず期待できない。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・不透明感が強いのは、世界の政治情勢等に安心感がないのが一因である。
その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・消費は堅調なものの、何に消費するかの選別は厳しい。消費財は少しでも節約しようという意識が根強い。
観光型ホテル（経営者）	・週末の来客数を前年同期比でみると、この半年は約3%減少している。衆議院選挙で動きが止まったこともあるが、宿泊に関しては、何か世の中で話題性等、インパクトのある出来事がないと、停滞したままではないかと懸念している。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から横ばいが見込まれる。
都市型ホテル（支配人）	・外国人旅行者は増加しているが、ホテル以外の形態での宿泊が増えている。企業の出張費は増えていないので、価格上昇は見込めない。レストランは、ターミナル駅エリアの供給が大きくなり、苦戦が続く。
都市型ホテル（経理担当）	・予約状況は前年同期並みである。
旅行代理店（経営者）	・大胆な経済政策が出てこない限り、景気は良くはならない。

	旅行代理店（経営者）	・団地は歯抜け状態で、家賃を下げないと維持管理ができない。団地周辺の商店や飲食店の閉店が進む一方、駅前等は競争激化で飲食店は共倒れも懸念される。
	旅行代理店（経営者）	・景気が回復する政策が出されているわけでもなく、このままの状態が続く。
	旅行代理店（従業員）	・年末年始のホテルや旅行申込の出足は悪く、旅行への関心が薄れてきている。来客数がめっきり減って旅行申込数が減少している。天候不順のレジャーへの影響、北朝鮮問題やテロ等、良い話題がなく旅行需要への悪影響がある。
	タクシー運転手	・飲食店街の入出は長い間少ないままであるため、当分は同じ状況が続く。
	タクシー運転手	・まだ上向きという実感はないが、与党の圧勝によって良くなることを期待している。
	通信会社（営業担当）	・当面は、あまり良くない状態が続く。年度末の需要期までこのような状態のままだと心配である。
	通信会社（営業担当）	・客の動きが変わるような商材が出る予定がないため、このまま変わらない。
	テーマパーク（職員）	・屋外施設のため、このまま寒くなると来客数は少ないままである。
	テーマパーク職員（総務担当）	・株価の続伸等、景気は上向きのようであるが、実感できるものがない。
	その他レジャー施設 [鉄道会社]（職員）	・トップシーズンの秋でも、業績が伸びを示していない。
	設計事務所（経営者）	・ここ最近、法令の改正が多く、作業量は増えても報酬はあまり変化ない。良くなる兆しはあまりなく、悪いまま横ばいである。
	住宅販売会社（従業員）	・大きく変わる要因が見受けられない。
	住宅販売会社（従業員）	・新築注文住宅の受注は、これまで他社からも全く聞こえてこなかったが、低金利を活用する人が出始めているのか、噂としては、家を建てたい客がいるという話が聞かれるようになってきている。
	その他住宅[不動産賃貸及び売買]（経営者）	・販売物件の仕入れが減少しているため、広報活動に力を入れて仕入れ増加を目指している。
	百貨店（業績管理担当）	・競合店でリニューアルや新規オープンがあり、競争が激化する。
	百貨店（売場担当）	・寒さが厳しくなると外出を控える客が増えるため、客足は伸び悩む。
	スーパー（店長）	・現状があまりにも悪いので、急に良くなるとは考えにくい。
	スーパー（店員）	・長雨や台風の影響で野菜の値段が徐々に上昇している。特に葉物やキュウリ等が通常の2倍以上に高騰しており、その影響がいつまで続くか不安である。
	スーパー（企画・経営担当）	・野菜の価格が上昇している。小分けして販売価格を抑えることはできるが、販売量の減少は避けられない。
	コンビニ（企画担当）	・コンビニは飽和状態で、5年以上経過している既存店では前年割れが続いている。このままでは確実に悪化していく。
	コンビニ（店長）	・ドラッグストアの相次ぐ出店に加えてコンビニも近くに出店し、ますます競合が激しくなる。
	衣料品専門店（販売企画担当）	・景気回復が、まだ衣料品にまでは波及していない。
	テーマパーク（職員）	・天候不順や世界情勢に対する不安がある。
	理美容室（経営者）	・あまり金を使わなくなり、景気が悪くなる。
	美容室（経営者）	・人口減少の影響が大きい。特に当業界は女性客が多いが、若い女性が当地を離れて都会に行くため、将来的に不安である。
	設計事務所（職員）	・衆議院選挙は終わったが、景気対策の話は特に出ていない。急に景気が上向きになることはない。
	住宅販売会社（経営者）	・用地をなかなか購入できず、分譲住宅を建築することができない。そのため売上も増加しない。
	その他住宅[住宅管理]（経営者）	・客は、リフォームの部材に対して品質よりも価格に関心が向いており、低価格の材料での受注が増えている。景気の回復はまだまだ先になる。
×	商店街（代表者）	・国全体の景気は数字の上では良くなっているようだが、周りをみる限り、良くなるようには思えない。
×	スーパー（商品開発担当）	・売上、粗利共に前年同期比95%で来客数は今期で最も悪い。来客数を増やす施策がないので、来客数がより一層減少する厳しい状況が続く。
×	衣料品専門店（経営者）	・販売単価が高いため、バーゲンセールといってもなかなか購入にまでは至らない。

	x	パチンコ店（経営者）	・監督官庁の規制強化により、来年より業界全体として売上、収益共に低調になると見込まれる。
	x	理容室（経営者）	・景気が良くなる兆しは全然見えない。
企業 動向 関連 (東海)		*	*
		食料品製造業（経営企画担当）	・消費は依然堅調に推移している。県外からの観光客も例年より多く見受けられ、行楽シーズンを迎える11月以降の消費拡大に期待がもてる。
		化学工業（人事担当）	・企業業績は好調で、このまま地政学的な要因が何も起きなければ、景気は上昇する。
		化学工業（総務秘書）	・新政権は企業に対して賃上げを求める姿勢が明確であるため、期待感を込めて、景気はやや上向くと見込む。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・2か月先までの受注があり、ここ数か月はなかった休日出勤も出始めている。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いも増加しており、販売量は増加する。
		電気機械器具製造業（経営者）	・客先業界で年末やクリスマスに向けてリニューアルする店が増えるため、設備導入に伴って当社の売上も増加する見込みである。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・完成車メーカーから新車の仕事が入ってきている。円安が定着しており、海外向けの数字は堅調で、今後も堅調な推移が見込まれる。
		輸送業（従業員）	・石油製品は徐々に値上がりしており、為替の関係で輸入製品も値上げ傾向にある。先行きは景気の上昇要因が弱まることを懸念している。
		輸送業（エリア担当）	・配送単価もすっかり上がっており、時給アップにより人手不足も解消できる。
		輸送業（エリア担当）	・毎年のことであるが、年末商戦で貨物量が上昇する。
		通信会社（法人営業担当）	・衆議院選挙の結果を受けて政治が安定し、株価の高値安定もあり、この状況で景気が本格的に上昇しないと、希望がもてない。政権としては消費者物価の2%上昇を達成したいところだが、長雨による野菜価格の高騰や魚介類の不漁による影響等で、消費者心理にはまだ厳しいものがある。
		通信会社（総務担当）	・先端分野への企業の投資は今後確実に実行される。自動車の買換えでも、電気自動車へのシフトが加速していく。
		金融業（従業員）	・先行きの受注量や発注状況は、わずかではあるが良い方向にあり、生産状況等も良い方向に向かっている。
		不動産業（経営者）	・11月は例年より晴天が多くなるとの予報で、当面は今以上に良い状態が続く。売上は10月以上に前年同月比を上回る状況で推移する。
		不動産業（用地仕入）	・衆議院選挙の結果から、良くなる見込まれる。
		行政書士	・身の回りの業者の動きが良い。
		会計事務所（職員）	・消費税の引上げにはまだ時間があるが、製品価格や商品単価アップの動きがみられる。メーカーの動きにつられてか、中小企業でも見積段階での金額が大きくなっている。
		会計事務所（社会保険労務士）	・通常のボーナスだけでなく、決算ボーナスを出す客先が増えてきている。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・先の仕事も受注しており良い状態である。知り合いの会社もまずまずの受注状況で、このまま3月まで続けば、会社としてはかなり余裕ができる。次の新製品の開発も積極的に進めていく。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・年末商戦で消費はやや良くなるが、1月になると反動で受注、販売量共に減少する。全体としては変わらない。
		金属製品製造業（従業員）	・仕事量は途切れそうでも途切れずに続いており、楽観と悲観がまさに半々である。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・米国向けの自動車設備は、短い納期での要求が多く、需要に対する供給力が足りない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・先行きは不透明である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・工作機械関係では好調が維持されるが、自動車関係には停滞感があり受注難である。年末から年明けにかけては、現状以上に良くなることはない。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・この先2か月くらいは、客先の生産計画が足元のペースを維持する。
		建設業（営業担当）	・工事の売上構成は段々と変わってくるが、維持管理業務はあまり変わらない。
		輸送業（経営者）	・物量が安定的に推移しており、同業他社が人手不足から運送力を増やせないため、現状の利益水準が維持できる。
		輸送業（エリア担当）	・明るい話題も聞こえてきているが、燃料の軽油価格が前年より約11円上昇しており、2～3か月先は心配である。

		輸送業（エリア担当）	・ 8～10月の荷動きは、前年同月比で変わっていない。今後 も上下する動きはなく、同様の動きに終始する。
		通信会社（法人営業担 当）	・ 高額案件は増えてきたものの、案件数が増えているわけ ではなく、景気回復に直結するほどはビジネスが動いていな い。
		金融業（企画担当）	・ 個人投資家に動きが出てくると消費へも好影響がある。個 人投資家以外は、給与が増えないと消費拡大に向かわない が、まだその動きは顕著にみられず、当面は現状のままの景 気が続く。
		広告代理店（制作担 当）	・ 新年に向けての広告予算や企画内容等は、前年同様であま り変わらない。
		公認会計士	・ 中堅中小企業の業績回復は、見通しが立たない。
		その他サービス業〔ソ フト開発〕（社員）	・ 次の案件の引き合いがあっても、以前のように丸投げで きず、人員確保の見通しが立ってから受託するしかない。
		食品製造業（営業担 当）	・ 販売量、受注量共に徐々に減少している。給与にも影響が あることから、先行きには期待がもてない。
		鉄鋼業（経営者）	・ 自動車メーカーの不正検査問題はさほど影響がないよう だが、大手鉄鋼メーカーの品質データ改ざん問題は、問い 合わせや書類を要求する客が次第に増え、今後対応に労力 を取られそうである。問題の収束が全く見通せない状況 では、何とも対応しようもなく、今後にかなり不安が残 る。
		建設業（役員）	・ 例年エンドユーザーは、年末年始に入るため動きが悪 くなる。
	x	新聞販売店〔広告〕 （店主）	・ 11月より値上がりする新聞があるため、購読者数が減 る。
雇用 関連 （東海）		職業安定所（職員）	・ 今までは小規模事業所の求人が多かったが、100人以上 の事業所から求人が出てくるようになってきている。
		人材派遣会社（社員）	・ 求人案件の動きが良くなる。
		人材派遣会社（社員）	・ 法人関係の予約状況も良く、やや良くなる。
		人材派遣会社（支店 長）	・ 長期就業者数は右肩上がりで伸びており、業界平均の 108%を上回る前年同月比110%となっており、今後も堅 調に推移する。
		アウトソーシング企業 （エリア担当）	・ 不正検査問題のあった自動車メーカー以外では、年間 生産台数を確保するため、生産体制は多忙になっている。
		職業安定所（職員）	・ 新規求人倍率が前月の2.05倍から2.61倍に上昇して いる。新規求人数が19.8%増加する一方で、新規求職者 数が6.0%減少している。
		民間職業紹介機関（営 業担当）	・ 12月中旬までの転職を目指して活動する人やボーナス 明けの転職を考える人が、今後は増えてくる。
		人材派遣業（営業担 当）	・ 引き続き北朝鮮情勢や株価の変動が激しく、様子見の 状態が続く。
		人材派遣会社（社員）	・ 求人ニーズは堅調に推移するが、紹介できる求職者が 不足しており、景気としては良いが、企業では生産性の 低下が心配される。
		人材派遣会社（営業担 当）	・ この先数か月は、人手不足の企業における採用活動が 続く。
		人材派遣会社（営業担 当）	・ 株価上昇は一時的なものである。
		新聞社〔求人広告〕 （営業担当）	・ 当地から首都圏等への人材流出が続いている。専業主 婦を雇用する場を増やしていかないと、地方の景気は、 良くても現状維持がいいところである。
		職業安定所（所長）	・ 人材確保に手詰まり感があり、最近の生産現場での 不正発覚等もあり、製造・販売では、これまでのペース からは、やや減速する懸念がある。
		職業安定所（職員）	・ 地元の中堅企業からは景気の良い話は出ず、良くな る要因も特にない。
		職業安定所（職員）	・ 求人数は増加傾向であるが、零細企業からは事業主 の高齢化や人手不足で、先行きに不安の声もある。
		民間職業紹介機関（窓 口担当）	・ 求人数、求職者数共に緩やかに増加しているが、数 値に表れるほど大きな変化はない。
		新聞社〔求人広告〕 （営業担当）	・ 人手不足から1人当たりの労働負荷は大きくなって おり、プレミアムフライデーや働き方改革が実現でき ないと思えない。現状の生産性をどのように維持する かを考えないと、景気はますます停滞していく。
	x	-	-